

令和6年度 第1回 中央区支え合いのまち推進協議会

地域の交流の場・通いの場に対する 支援について（事例紹介）

令和6年7月5日（金）
千葉市生活支援コーディネーター中央区



1

内 容



1. はじめに
2. 創出支援 **さくらカフェ**
3. 自主化移行支援 **末広交友会**

1. はじめに

千葉市 生活支援コーディネーター

地域の高齢者がいつまでも元気に安心して
暮らし続けることができるように
地域の支えあいづくりを推進しています。

(生活支援体制整備事業)

- (1) このようなご相談に応じています
- (2) 千葉市の生活支援サイト

※千葉市生活支援コーディネーターは、各区ならびに
千葉市あんしんケアセンターに配置されています。

3

(1) このようなご相談に応じています



居場所づくり

みんなで気軽に集まる
場所があるといいね。

介護予防・健康づくり

健康のために、近所で
体操をしたいなあ。

生活支援

足が痛いから、
ごみ出しが大変だ…
手伝ってくれる人が
いるといいなあ。

生活支援コーディネーターは、ニーズに
合わせて、地域資源をご紹介しますり、
活動をつくるお手伝いをします。

介護者支援

介護の悩みを理解して
くれる人はいるかしら。
話を聞いてほしいわ。

1人暮らし。自宅で
倒れたらどうしよう。
不安だわ。

見守り、 安否確認

(2) 千葉市の生活支援サイト

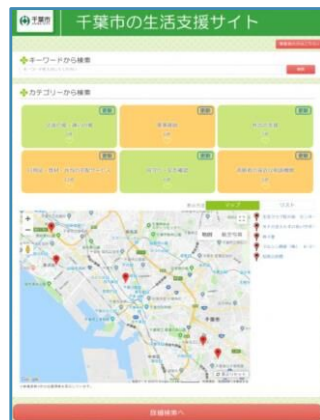


千葉市独自の地域資源WEB公表システム
千葉市の生活支援サイトでは、
スマホやPCから**地域活動を検索**できます。

<https://chiiki-kaigo.casio.jp/chiba>



カテゴリー、キーワード、
住所等、様々な方法で検索
できます。
本日の事例も掲載中です。



千葉市生活支援コーディネーター中央区

5

2. 創出支援

さくらカフェ

定休日の飲食店を活かした
地域の居場所・認知症カフェ※の立ち上げ支援

- (1) 支援対象
- (2) 支援プロセス
- (3) 結果・効果
- (4) 生活支援
コーディネーターの視点

※認知症カフェ

認知症の人やご家族、地域住民や専門職等が自由に集い、
認知症の症状の悪化予防、家族の介護負担の軽減等を
はかっていくことを目的とした集いの場（カフェ）。

千葉市認知症ナビより

事例担当：千葉市生活支援コーディネーター中央区（坂本）

6

(1) 支援対象



名 称	さくらカフェ（認知症カフェ）
主 催	個人 Aさん（民生委員、認知症サポーターステップアップ講座修了者）
活動日時	毎月 第1 土曜日 10:00～12:00
活動場所	千葉市中央区新町22-4 うなぎ天ぷら御料理大内（主催者の自宅兼店舗）
活動内容	認知症カフェ機能を含む地域の居場所、交流、情報交換

(2) 支援プロセス



令和5年 1月	交流会	認知症サポーターステップアップ講座修了者 交流会でAさんと知り合った。
2-3月	相談対応	- Aさんより、認知症カフェ立ち上げについて相談あり。訪問し、構想の聞き取りと情報提供を行った。 （近隣の認知症カフェ情報や補助金など） - 活動場所を検討した。（情報提供、視察、打診） - 圏域のあんしんケアセンターへ連絡を入れ、近隣の地域性や総合相談、介護予防給付状況等について情報を収集した。
4月	打ち合わせ	- 活動場所が自宅兼店舗に決定した。 - 千葉市職員とともにAさんを訪問し、打ち合わせを行った。
5月	補助金申請、 広報支援	- 近隣の認知症カフェの視察に同行した。 - 開催周知に協力した。 - 認知症カフェ設置促進事業補助金交付を申請した。

(3) 結果・効果



令和5年6月 初回開催

地域住民、自治会役員、民児協会長、民生委員、介護者等、28名が参加した。
(2回目以降、平均 15名程度)

- ① 区や圏域を越えて、独居高齢者や介護者、元・介護者等が参加している。
- ② お困りの方があんしんケアセンターの総合相談につながった。
- ③ 認知症カフェ運営者や認知症サポーターステップアップ講座修了者が視察に訪れている。
- ④ 近隣の認知症カフェとのネットワークを活かし、お互いに参加者を紹介している。



さくらカフェ

ちょっとひと息、
自由におしゃべりしませんか？
どなたでも お気軽にご参加ください。
参加費無料・申し込み不要
出入り自由です♪

場 所：うなぎ天ぷらお料理 大 内
千葉市中央区新町2-2-4
TEL：043-248-8780

◆ 開催日 ◆
日 時： 毎月 第1土曜日
10:00～12:00

認知症サポーター・生活支援コーディネーターが参加しています。
お気軽にお声かけください。

(4) 生活支援 コーディネーターの視点



- ① 自宅兼店舗で開催した結果、対象者を限定せずに広く参加者を募ることができた。
- ② 町内自治会や民生委員が毎回参加しており、良好な関係を築いている。
- ③ Aさんのご家族（夫、長女、次女）も運営側として参加している。
若い世代の賛同・協力を得ていることから、**活動の継続性**や
世代を超えた支え合いが期待できる。
- ④ 定休日の飲食店を活用する好事例となった。

3. 自主化移行 支援

- (1) 支援対象
- (2) 支援プロセス
- (3) 結果・効果
- (4) 生活支援
コーディネーターの視点

末広交友会

シニアリーダー※の協力による 老人クラブ活動（体操）の自主化移行支援

※シニアリーダー
市が行うシニアリーダー養成講座を修了し、
介護予防のための体操（シニアリーダー体操）の知識を
学んだボランティア。

千葉市公式サイトより

事例担当：千葉市生活支援コーディネーター千葉寺園域（江澤）

(1) 支援対象



名 称	未広交友会（老人クラブ、令和4年度までは千葉市老人クラブ連合会加入）
主 催	未広自治会
活動日時	毎月 第1・第3 月曜日 14:00～15:00（自主化移行前は、月1回）
活動場所	千葉市中央区未広1-10-10 未広町民館
活動内容	シニアリーダー体操 （自主化移行前は、あんしんケアセンターの保健師による出張健康体操）

(2) 支援プロセス



令和5年 9月	提案、 連絡調整	- 未広交友会の出張健康体操を担当していた千葉市あんしんケアセンターの保健師より、活動の自主化について相談あり。 - 未広交友会の代表者へ自主化について意向を確認の上、シニアリーダー体操を提案。体験会を調整した。
10月	体験	未広交友会での体験会に先駆け、代表者が既存のシニアリーダー体操教室（未広公民館）に体験参加した。
11月	体験会、 協議	- 未広交友会でシニアリーダー体操の体験会を実施した。 - 未広交友会の代表者、シニアリーダー連絡会会長、生活支援コーディネーターで協議した結果、12月からの開始が決定した。

(3) 結果・効果



令和5年12月 シニアリーダー体操開始

地域住民13名、シニアリーダー6名が参加した。

- ① 体操の機会が月1回から**月2回に増えた**。
- ② シニアリーダー体操が地域に広まった。
- ③ シニアリーダーの**意欲が向上した**。
- ④ 末広交友会・代表者の**心身負担が軽減した**。

(4) 生活支援 コーディネーターの視点



- ① 末広交友会、シニアリーダー、シニアリーダー連絡会、シニアリーダー事務局、あんしんケアセンター等、複数の関係者が関わるため、認識の齟齬や伝達漏れが生じないよう、**密に連絡調整**を行った。
- ② 末広交友会の「体操を継続したい」、シニアリーダーの「体操教室を増やしたい」という**思いが一致**したことで、自主化移行が円滑に進んだ。
- ③ 参加者とシニアリーダーが同世代であることから、**会話も弾み**、活気のある場となることが期待できる。

ご清聴ありがとうございました



千葉市生活支援コーディネーター中央区（坂本）

【所在地】 〒260-0031
千葉市中央区新千葉3-10-20
特別養護老人ホーム 新千葉一倫荘内 1F

【TEL番号】 **070-3105-8246**

【FAX番号】 043-243-0860

【E-mail】 sc-chuoku@koutokukai.sakura.ne.jp